

# 愛南町社会福祉協議会 事業報告書

## I. 総 括

少子高齢化による人口減少により、稼働世代が減少することに伴ない、今後、福祉人材の不足により公的な支援が行き届かなくなる事態が懸念されています。

多様化、複雑化する福祉課題や生活課題に対して、縦割りの制度やサービスでは対応が難しいケースが出てきています。

一方で、社会福祉法人の制度改革により、社会福祉法人にはこれまで以上の高い公益性が求められるようになり、町内の社会福祉法人とネットワークを構築し、連携を密にする中で公益的な取組みの拡充を図ることも、この制度改革により社会福祉協議会に課せられた新たな役割となっています。

地域のつながりの希薄化などにより、国が提唱する「地域共生社会」の実現に向けた地域での取組みが今後ますます必要となっています。

支援の必要な人が住み慣れた地域で安心して生活ができるための住民主体の支え合いの仕組みづくりが求められています。

そのような背景の中で、地域づくり事業を推進し、地域の交流拠点をはじめ、支え合いの仕組みを生み出すための基盤づくりに取り組んで参りました。

また、生活困窮者への支援や権利擁護事業等の個別支援にも取り組みました。

「在宅福祉事業」においては、介護保険法に基づき、要介護・要支援の利用者及び障害者総合支援法に基づく障がいをお持ちの利用者や家族のニーズに定めるよう、満足していただける質の高いサービス提供に努め、利用者の自立への支援と介護者の負担軽減に貢献し、住み慣れた地域で安心した生活ができるような支援を行いました。

今後も愛南町社会福祉協議会が地域住民の皆様に支えられ、信頼され、支持されるように「地域福祉事業」「在宅福祉事業」の更なる充実に向けて取り組んで参ります。

## 重点目標

### < 1 > 自主財源の確保

電気・水道光熱費等の経費節減に取組み、必要最低限の車輛台数を検討し老朽化した車両の廃車や各種補助事業を受託し、自主財源の確保に努めた。

### < 2 > 生活困窮者自立支援事業の強化

生活に困窮している方に対し、食糧の支援や生活福祉資金の貸付け、利用者毎のプランを作成し就労に向けた支援を行った。

### < 3 > 介護保険事業の組織体制整備

在宅福祉事業の見直しや、事業職員の適正人数等、組織体制の整備に取り組んだ。

### < 4 > 地域福祉事業の充実に向けた取組み

生活支援コーディネーターが地域に出て生活課題や地域資源等を住民の皆さんと話し合いながら住民主体の地域づくり活動や小地域で誰もが気軽に集える拠点づくりにも取り組んだ。

### < 5 > 人材育成のための職員教育の推進

職員全体での勉強会として社協事業や経営状況等の説明や愛媛県・県社協主催の研修会にも積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。

以下に、項目ごとに取組んだ事業内容を纏めましたので平成30年度の事業報告とさせていただきます。

## II. 事業別報告

### ＜1＞ 法人運営事業

#### ＜1＞ 法人運営事業

①事業の概要…理事会・評議員会の本来の役割に併せて、地域の福祉分野の各層から地域住民を代表して社協活動の推進に参画いただいております。地域における福祉課題の発掘に関する情報やその解決に向けたご提言等をいただくとともに、運営、経営面の改善等にご助言をいただき、更なる組織の機能強化を行ないます。

②事業の目標…これまで以上に、社協の活動を理解していただき、運営や経営に深く関わっていただけるよう、理事会評議員会の資料内容や説明、アピール方法の見直しを行います。

#### ◎理事会・監事会・評議員会

##### 1 理事会

① 第54回(平成30年度第1回)	
日時	平成30年5月22日(火) 13:30～14:35
場所	社協本所 2階 集会室
出席者	理事 7 名(8名中) 書面決議 0名 監事 2 名 (2名中)
議案	1 平成29年度事業報告について
	2 平成29年度決算報告について
	3 平成30年度資金収支補正予算<第1号>について
	4 評議員の補欠選任について

② 第55回(平成30年度第2回)	
日時	平成30年12月4日(火) 13:30～14:35
場所	城辺保健福祉センター 創造交流室
出席者	理事 8 名(8名中) 書面決議 0名 監事 2 名 (2名中)
報告	1 菊川小学校への移転について
	2 会長の職務執行状況の報告について
議案	1 有償運送事業の廃止について
	2 愛南町社協職員退職金規程について
	3 平成30年度資金収支補正予算<第2号>について
	4 評議員会の招集について

③ 第56回(平成30年度第3回)	
日時	平成31年3月15日(金) 13:55～15:55
場所	城辺保健福祉センター 創造交流室
出席者	理事 8 名(8名中) 書面決議 0名 監事 2 名 (2名中)
報告	1 会長の職務執行状況の報告について
議案	1 要介護認定調査事業の廃止について
	2 愛南町御荘老人福祉センターの管理・運営事業の廃止について
	3 定款の一部変更について
	4 経理規程の一部変更について
	5 就業規則の一部変更について
	6 給与規程の一部変更について
	7 平成30年度資金収支補正予算<第3号>について
	8 平成31年度 事業計画(案)について
	9 平成31年度 収支予算(案)について
	10 第三者委員の選任について
	11 評議員会の招集について

## 2 監事会

① 決算監査	
日時	平成30年5月14日(月) 9:30～
場所	社協本所 2階 会議室
出席者	監事 2名 (2名中)
議案	1 愛南町社会福祉協議会 監査 平成29年度事業報告 平成29年度一般会計・特別会計収支決算(財務諸表・関係証憑等)

## 3 評議員会

① 第42回(平成30年度第1回)	
日時	平成30年6月12日(火) 10:00～11:00
場所	城辺保健福祉センター 創造交流室
出席者	評議員 14名 (18名中)
議案	1 平成29年度事業報告について 2 平成29年度決算報告について 3 平成30年度資金収支補正予算<第1号>について 4 理事の補欠選任について

② 第43回(平成30年度第2回)	
日時	平成30年12月12日(木) 9:55～10:38
場所	御荘文化センター 大研修室
出席者	評議員 16名 (18名中)
報告	1 菊川小学校への移転について
議案	1 有償運送事業の廃止について 2 愛南町社協職員退職金規程について 3 平成30年度資金収支補正予算<第2号>について

③ 第44回(平成30年度第3回)	
日時	平成31年3月26日(水) 10:00～11:44
場所	城辺保健福祉センター 創造交流室
出席者	評議員 12名 (18名中)
議案	1 要介護認定調査事業の廃止について 2 愛南町御荘老人福祉センターの管理・運営事業の廃止について 3 定款の一部変更について 4 経理規程の一部変更について 5 就業規則の一部変更について 6 給与規程の一部変更について 7 平成30年度資金収支補正予算<第3号>について 8 平成31年度 事業計画(案)について 9 平成31年度 収支予算(案)について

## 4 評議員選任・解任委員会

① 第3回	
日時	平成30年5月30日(水)
場所	社協本所 2階 会議室
出席者	委員 5名 (5名中)
議案	1 評議員の選任について

実績評価・問題点	社協の経営状況は悪化している状況で、今後、社会福祉事業を進めていくうえで、役員の皆様にも理事会評議員会において、たくさんのご意見ご提言をいただいた。今後、ご提言も参考に法人運営の経営面の見直し、改善の取組みへの早期対応を検討する。
----------	---

## ◎社協会員制度(社協会費)普及状況

- ①事業の概要…社協は、地域において公共性の高い福祉活動を推進する非営利民間福祉団体として社会福祉法で市区町村に1ヶ所のみ設立認められた社会福祉法人です。地域住民に理解され、支持されることがひとつの条件であり、その証となるものが会員募集及び会費協力の取り組みです。住民全体に社協を認めていただき、社協活動を後押ししていただくべく社協会員としてご理解とご支援をお願いしていくことを趣旨として全戸会員制を推進します。
- ②事業の目標…会費についての使途、必要性をわかりやすくアピールしていきます。また、自治会にお願いするばかりでなく、自治会からも社協に対する要望等を受け、可能な限り自治会活動に支援、協力をしていきます。また、一般会員以外の団体(特別)会員についても今後検討していきます。理事、評議員会等においても社協会費の募集等の説明をし、地域において社協の良き理解者となっていただけるようにアピールしていきます。

平成30年度実績及び年度対比表

### ◎個人会費

	25	26	27	28	29	30	前年比
会費(円)	3,297,500	3,292,200	3,245,000	3,201,000	3,173,000	3,145,500	99.1%
加入世帯数	6,581	6,584	6,477	6,395	6,345	6,291	99.1%
加入率	73.8	74.8	74.5	75.0	74.9	75.4	100.6%

※平成30年4月1日現在、組入り世帯数 8,344世帯

◎団体会費 1件 2,000円

### 実績評価・問題点

加入率はほぼ前年なみで、住民へのアピールが足りていない状況である。また、自治会の協力を得られない地域もある。広報掲載時に、自治会未加入世帯へのお願い文章も入れたが、以前の1世帯を除き、反応はない状況であった。自主財源としての会費収入という意識をもって、会費の集め方について他社協も参考にして、取り組みの見直しが必要。

## <2> 社協運営安定積立事業

- ①事業の概要…必要な財源の安定的確保を図るために積立金を設置します。
- ②事業の目標…30年度財源不足による取崩しを300万円予定していますが、経費削減や予算の見直しを図りながら、取崩し額を抑えることができるように検討していきます。

運営安定積立金 6,320,000円(3月末残高)

### 実績評価・問題点

2019年度も法人運営に係る資金の財源として300万円の取崩しを予定している。取崩しを見直せるよう、引き続き、経費削減と自主財源確保の検討が必要。

## 《2》 地域福祉事業

### <1> 調査企画広報事業

号	発行日	主な掲載内容	
43号	H30.5.1	H30年度 事業計画・予算	在宅福祉課から
		地域支え合いセンター助成金のお知らせ	会費・共同募金実績報告
44号	H30.7.1	H29年度 事業報告・決算	地域担い手養成研修会
		社協会費のお願い	在宅福祉課から
45号	H30.9.1	西日本豪雨災害支援活動	地域担い手養成研修会
		夏休みボランティア	
46号	H30.11.1	社会福祉士援助技術実習感想	愛媛県社会福祉大会表彰
		ご縁茶屋報告	

### 実績評価・問題点

ここまで、4回の発行を行ってきたが、社協だよりに関する検討委員会を設けて記事の内容・作成等に関して、その都度検討を行ない、記事の充実にも努めることが出来た。今後も住民の方が分かりやすい内容または情報の提供が出来るよう、検討委員会を中心に行なっていきたい。

## <2>福祉用具貸与事業

- ①事業の概要…介護保険事業に該当しない独自の事業として、ギャッジベッド・車いすの貸出を無償で行います。なお、介護保険事業を妨げないためにも、現有器資材のみで対応し補充等は行わないこととしています。
- ②事業の目標…貸出の状況管理を行い、今までのどおりの方法でいいか、今後要綱の変更など検討していきます。

福祉用具名	件数
ギャッジベッド	0
車イス	22

実績評価・問題点	30年度のギャッジベッドの貸し出しは無く、返却があり現在5台の貸し出しが可能となっていて、古いベット・車椅子は処分をしている。 車椅子の貸し出しが多いため、補充を考えなければいけない。
----------	---

## <3>マイクロバス管理運営事業

予算額	1,092,000円	主な財源	町補助金
-----	------------	------	------

- ①事業の概要…社協活動の推進ならびに社会福祉団体・関係機関及び各種団体が、住民の福祉向上・ボランティア活動等に資することを目的として、サロン・老人クラブ・社協に係る団体等にマイクロバスを貸出しています。
- ②事業の目標…30年度からガソリン代、高速通行料が使用団体で支払うことになりましたが、昨年度同様にサロン・老人クラブ等が使用することが見込まれるため、安全で快適な運行に努めていきます。運転手の確保にも努めます。

年度	貸出数	貸出内訳数			
		町内	町外 (松山市除く)	松山市	県外 (宿毛・四万十市含む)
28	83	13	34	20	16
29	72	16	38	8	10
30	69	7	38	14	10

実績評価・問題点	運転手を2名確保し忙しい時期に対応ができた。前年度から雨漏りがひどく修繕してもまたひどくなっているため、応急処置を行っています。
----------	--

## ≪3≫ 地域福祉活性化事業

### <1>愛南ふれあいサロン事業

予算額	841,000円	主な財源	共同募金、会費、寄附金
-----	----------	------	-------------

平成30年度サロン開設状況

No.	名称	地区	登録人員	開設年度
1	家串ふれあいサロン	内海(家串)	16 人	18年度
2	おーい元気かーい	御荘(馬場)	24 人	18年度
3	菊川ふれあいサロン	御荘(菊川)	11 人	19年度
4	菊川愛あいサロン	御荘(菊川)	10 人	19年度
5	長崎サロン	御荘(長崎)	28 人	25年度
6	僧都・山出ふれあいサロン	城辺(僧都)	22 人	18年度
7	さくらサロン	城辺(久良)	15 人	19年度
8	太陽サロン	城辺(久良)	14 人	19年度
9	やすらぎサロン	城辺(久良)	13 人	19年度
10	蓮乗寺ひまわりサロン	城辺(蓮乗寺)	12 人	19年度
11	十人会	城辺(岩水)	14 人	19年度
12	ひだまりの会	城辺(土居)	10 人	21年度
13	にこにこサークル	城辺(深浦)	37 人	22年度
14	カトレア会	城辺(中原)	15 人	22年度
15	なごみ会	城辺(岩水)	13 人	23年度
16	石井手 二十日会	城辺(石井手)	16 人	24年度
17	鳥越サロン	城辺(鳥越)	27 人	27年度
18	サロン南天	城辺(中町)	17 人	28年度

19	サロン・さくら	一本松(中川)	16	人	18年度
20	サロン・みなみ	一本松(増田)	14	人	23年度
21	サロン・ささな	一本松(正木)	22	人	23年度
22	サロン・うみ	一本松(満倉)	18	人	24年度
23	一本松サロンなでしこ	一本松(一本松)	22	人	25年度
24	小山サロン松尾	一本松(小山)	14	人	26年度
25	サロン・こだま	一本松(増田)	19	人	27年度
26	弓古会	一本松(広見)	16	人	29年度
27	中泊ふれあいサロン	西海(中泊)	20	人	18年度
28	船越ふれあいサロン	西海(船越)	27	人	19年度
29	福浦ごきげんクラブ	西海(福浦)	26	人	19年度
30	しぐらサロン	西海(麦ヶ浦)	10	人	25年度
31	手まりの会	西海(内泊)	20	人	27年度

平成30年度愛南ふれあいサロン全体事業

事業名	開催日	参加者	内容
第1回 代表者会	H30.6.8	代表者	サロンを通じた地域づくり 砥部町のサロンの現状と課題 久万高原町のサロン活動
第2回 代表者会 (視察研修会)	H31.2.22	代表者	西条市サロン研修会視察 西条市サロン・砥部町サロン・愛南町サロン 代表者交流会

<b>実績評価・問題点</b>	代表者会では、先進地の勉強会を実施し、サロンを中心とした地域づくりについて学んだ。その他、担い手養成研修会への参加を促しサロンの必要性、また、共生社会の実現に向けてサロンの重要性を学んだ。課題としては、サロンによって意識の格差があり、今後はサロンを個別に訪問し、各地域の現状にあったサロンのありかたについて検討する必要がある。
-----------------	---

<2> 地域づくり事業

予算額	330,000円	主な財源	共同募金
-----	----------	------	------

一本松正木地区を対象に地域の課題を知り、何が必要かを考え、誰もが安心して暮らしていくための地域づくり

	開催日	参加者	内容
みやのはな集会	H30.5.18	住民 27人	包丁研ぎ体験・玉ねぎドレッシング作り
まさき集会	H30.8.9	住民・小中学生 他 50人	そうめん流し・音楽交流会
やってみたいこと発表会	H30.9.5	住民・聖カタリ ナ実習生 7人	地域アセスメント発表会 意見交換(正木地域のこれからのこと)
やまびこキッチン開催	H30.10.26	住民 50人	他世代との交流 食事の提供

※毎月 第1・3木曜日モーニング(やまびこカフェ)開催、第4木曜日夕食提供(やまびこキッチン)を継続して開催

<b>実績評価・問題点</b>	地域の課題、個別の課題を丁寧にアセスメントすることにより、正木地域に何が必要か、どうすれば住民同士の支え合いができるかについて住民と一緒に考えることができ、住民主体の自分たちの活動(やまびこキッチン)に繋がった。正木地域については今後も地域と連携して関わりを持っていく。また、他地域でも対象となる地区の掘り起こしや住民活動がスムーズに行なえるよう関わりを強め、支援していくことが必要。
-----------------	--

<3> 福祉教育推進事業

予算額	158,000円	主な財源	共同募金
-----	----------	------	------

福祉教育実施回数推移

年 度	保育所	小学校	中学校	高校	高齢者・ 教員・町職員	合計	備考
28年度	0	6	13	0	0	19	
29年度	0	7	7	0	0	15	人権教育 1回
30年度	0	4	4	1	0	9	

**実績評価・問題点**

4法人が連携し、福祉教育ハンドブックを作成し、ハンドブックをもとにした福祉教育の実施ができた。また、夏休みには学生ボランティア体験を実施し、125名の参加があり、地域での交流の中から福祉を学ぶ機会を設けることができた。  
教育委員会が推進するコミュニティスクールの取り組みと連動した福祉教育の実施ができています。

**<4> 小地域活性化事業**

予算額	1,210,000円	主な財源	事業収入、助成金
-----	------------	------	----------

ご縁茶屋の実績

	回数	利用者			売上金(円)
		お遍路さん	住民	計	
4月	13	23	117	140	64,000
5月	11	8	82	90	130,650
6月	14	6	112	118	108,750
7月	11	9	75	84	82,200
8月	11	8	84	92	41,600
9月	11	0	107	107	63,864
10月	12	15	104	119	113,450
11月	10	22	143	165	130,760
12月	12	5	102	107	58,500
1月	12	4	76	80	54,650
2月	12	9	91	100	99,000
3月	13	27	118	145	81,600

**実績評価・問題点**

客数も定着してきており安定した運営ができています。通常の営業以外にお弁当の販売や、愛南おれんじの会と協働でのカレー販売などにも取り組み誰もが気軽に立ち寄る場所としての取り組みに努めることができた。

**<<4>> ボランティア活動振興事業**

**<1> ほっとサポート愛南事業**

予算額	131,000円	主な財源	会費、共同募金
-----	----------	------	---------

活動状況

延べ利用回数	982 回
延べ利用時間	951.5 時間
活動内容(主なもの)	掃除、買い物、調理、通院の付き添い、草引き

**実績評価・問題点**

個別ニーズに対応したマッチングができています。しかし、過疎地におけるニーズ把握及び担い手の養成ができていない為、要望に対応できていない場合もあることから、各地域での担い手の養成や発掘が必要。

**<2> ボランティア市民活動支援センター事業**

予算額	556,000円	主な財源	共同募金
-----	----------	------	------

**[1] 町内ボランティア活動団体支援事業**

	加入団体名	主な活動内容	会員数
1	子育て支援グループ「こぶたたんぽぽポケットとんぼ」	子育て支援	15
2	蓮乗寺を綺麗にしたい会「川遊会」	河川・環境美化活動	7
3	一本松おもちゃ図書館「あゆみくらぶ」	障害者交流、おもちゃ活動	18
4	傾聴ボランティア「お話し相手おひさま」	傾聴ボランティア・学習会	14
5	松ぼっくり	障害者生活支援、子育て支援	25
6	ハート暖め隊	障害者・高齢者支援	11
7	ふれあい楽遊快	小地域活性化	5
8	BSクラブサポート隊	BSクラブの活動支援と地域支援補助	28
9	パソコン倶楽部	パソコン研修	17
10	てんとうむしの会	点訳	11

[2]各種講座の開催  
地域の担い手養成講座

開催日	内 容	講師	参加者
H30.6.4	地域共生社会の実現に向けて まるごと緑の取組みについて	前田 眞 氏 木村 俊介 氏	41名
H30.7.19	介護保険事業や福祉サービスについて 楽にできる介助の方法について	吉田 直喜 氏 馬詰 圭祐 氏	35名
H30.7.21,22	手作り味噌体験	民家 トラム 氏	12名
H30.10.1	「なぜ今住民活動が求められているか？」 「西条市の住民活動」 「松野町の住民活動」	山梨県立大学 高木 寛之 氏 松野町社協 武田 祥枝氏 西条市社協 矢野 志織氏	30名
H31.2.6	地域リーダーの魅力アップ講座	未来人財育成企業 福本 由美 氏	29名
H31.2.13	漬物作り講座	菊川ふれあいサロン 丸田 カツミ 氏	20名

夏休みふれあい交流会

回	開催日	内 容	参加者	備考
第1回	H30.8.11-12	上島故郷大楽 (かみじまふるさとだいがく)	児童23名	上島町・砥部町・愛南町
第3回	H31.3.23	砥部町・愛南町交流卒業式	児童12名	砥部町・愛南町

[3]夏休みボランティア

開催日	内 容	参加者
H30.7.21,22	正木地域づくり事業	2名
H30.8.9	味噌作り	13名
H30.8.11,12	防災学習	5名
H30.8.17	上島キャンプ	4名

実績評価・問題点	サロン代表者やほっとサポート愛南協力員、小地域活性化ボランティア等を中心に担い手研修を実施し、福祉の動向や介護等の専門的知識を学んだ。担い手同士の交流にも努め、味噌作りや伝統料理をすることで交流を深めた。また、児童を対象とした事業にも取り組み、子供から高齢者まで一緒に学ぶ機会を設けることができ、福祉教育の実施にもつながった。
----------	---

<3>生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター事業) (町受託事業)

予算額	3,101,000円	主な財源	町受託金
-----	------------	------	------

小地域活性化事業や地域の担い手養成講座の社協事業と連携しながら、事業に取り組んだ。29年度モデル地区(福浦湾)での自主的な活動が継続して行えるよう関わりを持ち、座談会やアンケートなどでニーズの把握を行い、事業の実施に向けて取り組んだ。

実績評価・問題点	目標にあげたモデル地域での活動、小地域福祉活動地域への支援、サロンへの支援を中心に各地域でニーズ把握に勤め、住民主体の活動につながる支援を実施することができた。今後も引き続き支援を行うとともに、第2層コーディネーターの設置に向けて、対象となる地域への働きかけを行う。また、住民活動が生まれにくい地域への支援を考えて行く必要がある。
----------	---

《5》食の自立支援事業(配食サービス事業)

予算額	1,931,000円	主な財源	町受託金
-----	------------	------	------

①事業の概要・・・一人暮らしの高齢者等で、食生活に支障のある方に対して、ボランティアの協力を得て昼食弁当の配食サービスをおこなうことにより、高齢者が健康で自立した生活を送ることができるよう支援し、併せて安否確認を行うものです。月・火・木・金 の週4回(昼食分のみボランティアの協力により配食) 弁当は業者委託1食600円(利用者負担金 450円)

②事業の目標・・・菊川移転に伴い、お弁当の置き場所や、ボランティアの配布方法の検討をしていきます。



年度別配食数

年度	単価	内海	御荘	城辺	一本松	西海	計
28年度	450	0	829	896	0	268	1,993
29年度	450	0	966	609	0	234	1,809
30年度	450	0	932	389	0	88	1,409

実績評価・問題点

毎年配食数が減ってきているが菊川に移転し配食調理委託業者を変更しボランティアさんが御荘だけになっているので、今後御荘・城辺・一本松の配食ができる方にまたお願いし負担がかからないように検討していきます。

《6》心配ごと相談事業

予算額 614,000円 主な財源 町受託金

[1] 心配ごと相談事業(場所:御荘老人福祉センター)(町受託事業)

① 地域に関する相談や、行政に関する相談があり、関係機関への紹介を行い解決への支援を行いました。

② 事業実績

開設日	年度	開催回数(回)	相談者数(名)	平均相談者数	延べ相談員数(名)
毎月 第2水曜日	29年度	12	9	0.8	30
	30年度	12	2	0.2	32

③ 主な相談内容

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
相談内容	土地	相続	家族	生計	借家	医療	仕事	地域	児童	金銭	介護	安 生活の不	後見	その他	
29年度	0	0	2	1	1	1	0	1	0	1	2	0	0	0	9
30年度	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2

[2] 無料法律相談事業(場所:御荘老人福祉センター)(町受託事業)

① 町の補助金と、共同募金の配分金を活用し、月に1回の法律相談(偶数月:司法書士、奇数月:弁護士)を開催し相談を受け、複雑な社会情勢や経済状況の中で、住民のあらゆる生活、福祉の問題について、適切な助言や法的な解決が必要な問題への対応を行った。

② 司法書士相談実績(1回の開催につき5件対応)

開設日	年度	開催回数(回)	相談者数(名)	平均相談者数	相談員
4・6・8・10・12・2月	29年度	5	17	3.4	司法書士 増本 園
第3木曜 14:00~16:00	30年度	6	23	3.8	

※平成29年度2月相談者がいないため中止。

③ 司法書士相談内容 (件数)

	一般民事				家庭		金銭		その他	計
	借地・借家	土地・相隣	負債回収	連帯保証人	その他	相続	その他	多重債務	その他	
30年度	0	1	3	5	4	4	2	3	1	23

④ 弁護士相談実績(1回の開催につき6件対応)

開設日	年度	開催回数(回)	相談者数(名)	平均相談者数	相談員
5・7・9・11・1・3月	29年度	6	33	5.5	弁護士 松本 宏
第3火曜 14:00~16:00	30年度	6	28	4.7	

⑤ 弁護士相談内容

連帯保証人	一般民事				家庭		金銭		その他	計
	借地・借家	土地・相隣	連帯保証人 負債回収	その他	相続	その他	多重債務	その他	その他	
30年度	1	4	3	6	5	5	1	2	1	28

実績評価・問題点	無料法律相談件数の内訳については、司法書士相談件数23件/年：月平均3.8件、弁護士相談件数28件/年：月平均4.7件となり、一般民事の相談が多い。心配ごと相談の件数が年間を通して2件と少ないため、今後どのようにしたら相談に來れやすいのか、相談体制を考える必要がある。
----------	--

《7》共同募金配分事業

＜1＞一般配分事業	予算額	4,042,000円	主な財源	共同募金配分金、繰越金
-----------	-----	------------	------	-------------

主な配分事業

事業名	内容
1 老人福祉活動	
1 三代交流事業	旧町村 5カ所で実施
2 福祉杖支給事業	高齢者等への福祉杖の支給
3 ふれあいサロン事業	サロン団体へ助成・育成活動
2 障害者・児福祉活動	
1 手をつなぐ育成会助成	団体への活動助成
2 身体障害者福祉会助成	団体への活動助成
3 児童・青少年福祉活動	
1 母親クラブ活動助成	団体への活動助成
2 南予里親普及事業助成	団体への活動助成
3 夏休み・冬休みふれあい交流会	親子で味噌作り
4 福祉教育推進事業	小学生・中学生への福祉教育の実施
4 母子・父子福祉活動	
1 母子家庭小学校卒業児童激励事業	母子・父子家庭の児童に対して小学校卒業時に図書カードを贈呈
5 福祉育成・助成事業	
1 民協活動助成	民生児童委員協議会への活動助成
2 広報・啓発	社協だより
3 無料法律相談事業	弁護士相談2回・司法書士相談1回
6 ボランティア活動育成事業	
1 町ボランティア活動助成	町内のボランティア団体への活動助成
2 ボランティア養成講座	夏休みボランティア
3 ボランティアセンターの運営	ニーズ受付
4 地域づくり事業	地域の担い手養成講座・まちづくり座談会
5 小地域活性化事業	拠点づくり（ご縁茶屋）
7 共同募金運動推進事業	
1 募金運動資材の整備	啓発活動

＜2＞特別配分事業	予算額	550,000円	主な財源	共同募金配分金
-----------	-----	----------	------	---------

「地域から孤立をなくそう」特別事業 30万円

＜3＞在宅サービス特別配分事業	予算額	1,302,000円	主な財源	共同募金配分金
-----------------	-----	------------	------	---------

生活支援体制整備用車両整備事業 83万円

＜4＞共同募金運動啓発・推進

目標達成率	目標額	5,354,000円	実績額	5,192,833円	達成率	97.0%
-------	-----	------------	-----	------------	-----	-------

- ・戸別募金、職域募金、学校募金、大口募金、街頭募金
- ・ゆらり内海へガチャポン（缶バッジ）を設置売上の全額を募金
- ・御荘老人福祉センターに赤い羽根自動販売機（伊藤園）を設置売上の一部を募金

**実績評価・問題点**

募金の実績については年々減少傾向になっている。募金は地域福祉活動に重要なものなので、住民の方の理解が得られるような、また、効果があるような広報・周知が行なえるよう努める。また配分事業については事業計画に沿った各団体等への助成が来ている。31年度見直した事業もあり、今後も引き続き事業の配分見直しについて検討をしていく。

**＜8＞総合相談支援事業(くらしの相談室)**

**＜1＞福祉サービス利用援助事業**

予算額	596,000円	主な財源	県社協受託金、利用料
-----	----------	------	------------

利用状況

年度	利用者数	生活支援員数
28年度	8名	4名
29年度	8名	4名
30年度	8名	3名

・主な支援内容 日常的な金銭管理

**実績評価・問題点**

新規1名、終了1名になっている。広報紙での広報や主任ケアマネ会議で事業説明をしている。現在のところ生活支援員は不足していないが、確保に努めていく。

**＜2＞生活福祉資金貸付事業**

予算額	1,825,000円	主な財源	県社協受託金、会費
-----	------------	------	-----------

① 平成30年度貸付件数

資金種類	福祉資金	教育支援資金	総合支援資金	緊急小口資金	臨時特例つなぎ資金	計
貸付件数	1	0	0	12	0	13
貸付金額	66,420	0	0	600,000	0	666,420

② 生活福祉資金貸付状況(平成31年3月31日現在)

資金種類	貸付件数	貸付額	貸付利子	延滞利子	償還済額	償還金残高
更生資金	2	3,500,000	280,625	2,885,030	3,017,470	3,648,185
更生資金(障害者)	1	1,300,000	157,625	26,450	890,040	594,035
福祉資金	6	1,470,320	46,765	2,725	1,200,750	319,060
福祉資金(住宅改修)	4	6,250,000	632,964	3,886,394	4,807,342	5,962,016
教育支援資金	25	64,119,000	0	654,152	39,253,180	25,519,972
療養・介護等資金	1	1,500,000	0	489,742	1,450,000	539,742
災害援護資金	2	2,000,000	212,500	1,856,964	1,990,850	2,078,614
緊急小口資金	18	1,192,000	312	378,891	462,880	1,108,323
計	59	81,331,320	1,330,791	10,180,348	53,072,512	39,769,947

**実績評価・問題点**

相談件数は、延べ58件ありました。緊急小口資金の貸付は生活保護申請のつなぎや生活保護世帯への貸付が多かった。今後も関係機関と連携して実施していく。

**＜3＞生活困窮者自立相談支援事業**

予算額	4,529,000円	主な財源	県受託金、会費
-----	------------	------	---------

相談実績

	相談実績	プラン件数(再プラン含)	新規就労者数(重複)	増収者数(重複)
H.29	27件	19件	15名	13名
H.30	20件	4件	2名	2名

**実績評価・問題点**

保健福祉課等、各関係機関と連携は密にしているが利用者は少ない状況です。相談があっても生活保護を受給するケースが多い。

<4> 家計相談支援事業

予算額	2,400,000円	主な財源	県受託金
-----	------------	------	------

支援実績

	対象者数	プラン件数	終結件数	備考
H.29	2名	2件	2件	
H.30	2名	3件	1件	

実績評価・問題点

自立相談支援事業と連携して支援を行っているが、利用者が少ない。家計の状況を把握できるように相談者と一緒に「見える化」を図り支援しており、家計改善までいっていないが、改善しようという意欲が少しずつ見られてきた。

<14> 生活困窮者・被保護者就労準備支援事業 (愛媛県委託)

- ① 生活困窮者及び被保護者の就労意欲の喚起のため、その前提としての動機づけ、一般就労に向けた基礎能力の形成など、一般就労に従事する準備として基礎能力の形成を、計画的に一貫して支援を行いました。

② 支援実績

対象者数	プラン件数	終結件数	備考
5名	4件	4件	被保護者のみ

実績評価・問題点

新規利用者4名。正木の拠点を活用し、一人一人にあった支援プログラムを作成し、地域の方々や事業所の方々の協力等を得て、支援を行った結果、4名が自分自身に自信が付き終結することが出来た。内訳としては、3名が就労開始新たなスタートを切る事が出来た。1名も就労支援へ移行し就職活動に励むようになった。1名についてはプラン期間中であり、継続している。今後も一人一人に寄り添いながら支援していくことが大切。

<6> 法人後見事業

予算額	700,000円	主な財源	事業報酬
-----	----------	------	------

利用状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	主な支援内容
後見	3名	3名	4名	財産管理・身上監護
保佐	0名	1名	1名	財産管理・身上監護 (代理権付与)
補助	0名	0名	1名	財産管理・身上監護 (代理権付与)

実績評価・問題点

新規2件受任、終了1件。毎月訪問し、本人の状況を確認している。ケース会議は開いていないが、対応が難しい場合は関係機関と連携し検討している。、死後の対応については未確認である。利用者の病気や入院時には、施設、病院、包括、家族等と連携して支援することができた。

<<9>> まごころ銀行運営事業

予算額	785,000円	主な財源	寄附金
-----	----------	------	-----

- ①事業の概要・・・個人、団体の皆様より、いただいた寄附金品を預託して、地域福祉活動、災害見舞等の財源として役立てます。
- ②事業の目標・・・まごころ銀行規程に遵守した寄附金の活用に努めます。寄付をしていただいた方が寄附をして良かったと思っただけけるよう、その後も継続して寄附をしていただけるよう、感謝の気持ちを示していきます。また、寄附をしていただける方が増えるよう広報などでアピールしていきます。

寄附金の受入

No.	氏名・団体名	金額 (円)	目的・用途
1	南宇和高校 S44卒3-8同級会様	6,000	地域福祉
2	内海囲碁クラブ様	33,971	地域福祉
3	女川町社会福祉協議会様	10,000	地域福祉
4	株式会社エースワン様	7,098	地域福祉
		11,448	地域福祉
5	フレンズ様	15,493	法人に一任
6	城辺中学校昭和41年3月卒業生合同同窓会 様	15,000	法人に一任
7	鎌田 暑則 様	200,000	地域福祉
8	加藤 正則 様	30,000	法人に一任
9	匿名	4,342	地域福祉

10	観自在寺御詠歌講 様	100,000	地域福祉
11	愛媛南部ヤクルト販売株式会社 様	1,032	地域福祉
12	十人十色 様 代表 栗田國昭 様	5,174	法人に一任
13	愛南町グラウンドゴルフ協会 様	240,000	地域福祉
14	松蔭 正人 様	10,000	地域福祉
合 計		689,558	

災害見舞金 西日本豪雨災害床上浸水見舞金 15件(150,000円)

**実績評価・問題点**

香典返しなど少しずつ寄付も増えている。西日本豪雨での被災された方への見舞金としての活用が出来た。今後も広報等でのアピールが必要。

**＜10＞居宅介護等事業**

**＜1＞訪問介護事業・第1号訪問事業**

予算額(円)	80,422,000	主な財源	介護報酬・負担金、繰越金
決算額(円)	67,423,562	達成率	84%
支 出(円)	62,279,107	繰越金(円)	5,144,455

①事業の概要・・・自立支援の視点と介護の専門技術を持った訪問介護員(常勤職員/介護福祉士資格(国家資格)取得者 100%)が自宅に訪問し、身体介護・生活援助・通院の介助等の介護サービスを行っています。介護予防・日常生活支援総合事業における身体介護・生活援助等のサービスを行っています。

・営業日 月曜日から金曜日(祝祭日除く)

(但し、土日祝祭日や年末年始も必要な場合は対応しており、実際には365日稼働しています)

②事業の目標…

I. 制度理解を深め、サービスについてきちんと検証できる力をつけ、利用者や家族だけでなく、関係機関との信頼を深めることを目指します。また、職責や職員の力量に合わせたレベルアップを目指します。

\* サービス提供責任者:医療・保健・福祉の連携の際、暮らしと介護の専門職として、根拠ある提言が出来、支援関係者間や職場内職員等への伝達力や連携力の向上を目指します。

\* 常勤・パート職員:サービスにおける「気づき」をスタッフ間で共有・検討し、暮らしの視点を持った介護専門職を目指します。有資格者は地域で介護指導が可能なレベルを目指します。

II. 介護・総合事業合わせて 618万/月 を目標とします。

**実績評価・問題点**

経営面では、法改正で、サービス単価が低くなった事と、重度の要介護者は施設入所される流れがあることや、介護職員そのものの高年齢化による退職などにより、収入減少が進んでいる。介護保険という単独事業で見ると、目標額を下回る状況である。事業所の質の面からは、正規職員が講師を担当し、介護職員向けの研修を行うなど、職員のレベルアップを目指した。高知大学の研究協力後には、協力内容を活用し、対応した職員による伝達研修や、在宅福祉課内各事業所の課題を管理者間で共有し、事業所を超えて、事業所間共同の研修を実施することができたので、今後も継続して実施することで、根拠ある介護事業の展開ができる人材の育成を目指していく。

**＜2＞障害福祉サービス事業**

予算額(円)	7,490,000	主な財源	介護給付費、繰越金
決算額(円)	14,340,585	達成率	191%
支 出(円)	12,315,822	繰越金(円)	2,024,763

1. 居宅介護

①事業の概要・・・愛南町が決定した障害支援区分1以上の障害者(児)に対して、訪問介護員が自宅で、入浴・排泄及び食事等の介護や、生活等に関する相談及び助言、その他生活全般にわたる介助を行います。

2. 重度訪問介護

①事業の概要・・・重度の障害があり、常時介護を要する障害者(児)に対して、訪問介護員が自宅で、入浴・排泄及び食事等の介護や、生活全般にわたる介助、外出時における移動中の介助を行います。

3. 同行援護

①事業の概要・・・視覚障害により、移動介助が必要な障害者(児)に対して、ガイドヘルパーが外出時に移動に必要な情報の提供(代筆・代読含む)、移動・排泄及び食事の介護、その他外出に必要な介助を行います。

②事業の目標…

I. 障害の特性を理解したサービスの提供ができる支援者になり、利用者・家族、関係者との信頼を深めることを目標とします。

II. 60万円/月の目標予算に加えて、特別地域加算(15%)の取得をおこない、増収を目指します。

実績評価・問題点	積極的な利用者の受け入れと特別地域加算をサービスごとに付加することにより、増収となった。したがって、31年度の予算はアップしたもので計上している。ただし、65歳以上は介護保険優先対象者となる為、障害サービスとの併用ケース以外は終了となる。また幼児等へのサービス展開も行っているが、就学と共に終了するケースも多い為、今後目覚ましい伸びは見込めない。が、愛南町内で障害事業が行える介護事業所が限られている点を強みに、予算収入を少しでも上回る事業展開をしていけるよう、専門研修にも参加し、障害に特化した技術を持つ職員の育成を行っていく。
----------	---

### <3> 地域生活支援事業

	予算額(円)	320,000	主な財源	町受託金
(入浴)	決算額(円)	412,500	達成率	142%
(移動)	決算額(円)	43,380		
(障害入浴→訪問入浴へ)	支出(円)	412,500	繰越金(円)	0
(移動支援→訪問介護へ)	支出(円)	43,380		

#### 1. 障害者訪問入浴事業

①事業の概要・・・愛南町の許可を受けた介護・介助が必要な高齢者や障害者(児)の方々の自宅に訪問し、組み立て式の浴槽を設置して、入浴介助を行います。

②事業の目標・・・

I. 障害の方の利用は、利用開始すると利用期間を長く見込めるので、ホームページ等を活用し訪問入浴事業の周知の機会を持ち、利用人数の増加を図るようにします。

II. 30万/年 を目標としています。

#### 2. 障害者(児)移動支援事業

①事業の概要・・・愛南町の許可を受けた外出時に移動が困難な障害者(児)に対して、ガイドヘルパーが、外出の移動支援を行います。

②事業の目標・・・

I. 利用者が安心して外出できるよう、安全な移動支援の提供と利用者を取り巻く周辺状況に気づきをもった支援を行えることを目指します。地域にガイドヘルパーの存在を周知し、利用者の増加を目指します。また、資格取得者を増やし、後継者の育成を行います。

II. 年間10時間 2万円/年を目標とします。

実績評価・問題点	訪問入浴は、障害関係者の会で事業説明を行ったが、訪問入浴に対する認識不足が感じられた。事業説明がしやすいように、パンフレットを渡すことができたのは良かった。今後も当事者、家族などにアプローチが出来るために、障害者の会・集まり等で、デモンストレーション等アピールを行う機会を持つよう、関係機関に働きかけていく必要がある。 移動支援は、障害者の対象者も限られていることと、対応できるスタッフも資格に制限がある為、必要に応じたサービス提供となった。今後も町担当課からの依頼に応じてサービスを行っていき、町独自の事業で、十分周知されていないところもあるので、周知機会を持って、対象になる方の掘り起しをしていきたい。
----------	--

### ※ 居宅介護等事業合算 (<1>+<2>+<3>(訪問入浴事業を除く))

予算額(円)	87,932,000		
決算額(円)	81,764,147	達成率	93%
支出(円)	74,638,309	繰越金(円)	7,125,838

実績評価・問題点	訪問介護員同一スタッフで展開している上記3事業(訪問入浴以外)については、半期報告と同様にスタッフ人員数が業績に影響がある。スタッフの希望する雇用内容を優先しつつ人材確保に努めているが、扶養内での稼働や処遇改善加算による手当の影響もあり、就労時間に制限があり、業績アップにつながりにくい状況。30年度末1名のサービス提供責任者退職に伴い新たに1名サ責任命となった。その為、信頼される事業所として存続する上で、新人サ責の育成も全職員の育成と共に不可欠な課題である。研修等を重ねることで育成に繋げていく。人材確保と経営のバランスという点においては、1つの事業所の視点では限界がある為、他事業と協力して人材の共有もしつつ事業継続の見直しも行っていく課題が残っている。
----------	--

## 《11》居宅介護支援事業

### <1>居宅介護支援(予防)事業

予算額(円)	24,154,000	主な財源	介護給付費、繰越金
決算額(円)	25,177,532	達成率	104%
支出(円)	19,248,356	繰越金(円)	3,429,176
(法人へ) 繰り出(円)	2,500,000		

①事業の概要・・・保険・医療・福祉等に関する知識を持った介護支援専門員(ケアマネジャー)が、介護保険を利用する介護が必要な方や家族の要望を尊重し、心身の状態や家庭の状況を考慮して、適切なサービスが出来るように支援します。本人とサービス事業者・その他関係者のパイプ役となり、連絡・調整や介護に関するさまざまな相談に応じます。

・営業日 月曜日から金曜日(祝祭日除く)(但し、12/29～1/3は休業します・24時間の相談対応あり)

・介護支援専門員実務研修の実習生の受け入れをしています。

②事業の目標・・・

I.研修参加や事業所内事例検討などを重ねて介護保険制度の改正の理解を深め、伝達力や判断力、様々な事例に対する課題解決能力の向上を目指します。

II.総合事業への移行による予算影響はありますが、件数調整を行いながら、要介護115件/月・介護予防(総合事業含む)20件/月 合わせて 180万円/月を目標とします。

#### 実績評価・問題点

昨年度同様の活動状況が継続している。ここ数年の課題は、軽度介護度者比率が66%と高いことと、介護度が高くなると入所となる為、短期利用で長期支援につながらない事がある。入所施設が併設されていない点が、軽度介護度者の比率が高い原因の一つと考えられ、致し方ない点もある。令和元年度で管理者が定年退職し新人管理者となったが、旧管理者が再雇用となり、新人管理者へのサポートと指導を行う体制をとっている。これに伴い、主任介護支援専門員が2名となり、町内事業所を超えて指導・相談等を受ける役割も担うこととなった。課内においても、他職種事業所間での事例検討会等、介護職員のレベルアップを図る研修に中心的な役割を担う協力体制を整えていく。

### <2>要介護認定調査事業

予算額(円)	2,999,000	主な財源	町受託金、繰入金
決算額(円)	1,936,000	達成率	65%
支出(円)	2,770,000	繰越金(円)	-834,000

①事業の概要・・・要介護認定を受けるために、介護支援専門員の資格のある職員(認定調査員)が、自宅などを訪ねて、調査対象者の心身の状態についての聞き取り調査(要介護認定調査)を行います。

②事業の目標・・・

I.介護保険のサービス利用にあたり、基本となる調査なので、公正中立且つ正確で丁寧な調査実施の継続を目標とします。

II.目標件数は、36件/月 19万8千円ですが、町からの受託事業であり、受託金の予算としては275万円/年となっております。

#### 実績評価・問題点

1件5500円×30件/月のペースの実績であった。町受託事業であり、人件費・事業に係る経費などを勘案し、マイナス計上であったことと、町担当者と検討した結果、社協担当件数を町に於いて対応できるということで、30年度で町受託は終了となった。

## 《12》訪問入浴事業

予算額(円)	19,400,000	主な財源	介護報酬、負担金、繰越金
決算額(円)	17,534,931	達成率	90%
支出(円)	14,110,344	繰越金(円)	2,487,587
(法人へ) 繰り出(円)	937,000		

①事業の概要・・・介護・介助が必要な高齢者や障害者(児)の方々の自宅に訪問し、組み立て式の浴槽を設置して、入浴介助を行います。ボイラー搭載車に、組み立て式の浴槽を積込み、スタッフ3名1チーム(看護師1名、介護職員2名)で訪問します。自宅のお部屋に約畳2畳のスペースがあれば入浴可能です。入浴を行うにあたり、医師の許可が必要です。

・営業日 月曜日から土曜日(祝祭日含む)(但し、12/31～1/3は休業します)

②事業の目標…

I.利用者・家族へ真心を持って接し、信頼関係を築き、入浴を通じ住み慣れた自宅で安心して暮らしていただけるよう手助けをします。その為にも、利用者数の変動はあるものの、愛南町唯一の訪問入浴事業所が継続していけるよう、職員の個々の能力を伸ばしながら、訪問入浴を地域の方々に周知していく事を目標とします。

II.延べ利用者数115件 141万円/月を目標とします。

実績評価・問題点	ホームページや事業紹介シートを作成し、医療・福祉・行政・関係者団体などにも配布や紹介を行ってきた。特に介護支援専門員は利用者の説明に活用してくれている。医療の方でも、毎月行う体重測定が受診時に担当医に報告し、薬の処方を目安になるなど、役に立っていることが実感できた。デイの利用や、施設入所等が優先される傾向だが、少数ながらも、自宅で過ごしたい、自宅で看たいと思っている人達もいる。家で入浴できて、他のサービスも使えば家で看る事が出来るという意識の改革をしていくためにも、様々な機会において訪問入浴を広く周知できる活動も継続して行っていく。
----------	---

＜13＞通所介護事業

予算額(円)	44,113,000	主な財源	介護報酬、負担金、繰越金
決算額(円)	46,473,746	達成率	105%
支出(円)	37,766,872	繰越金(円)	7,800,874
(法人へ) 繰り出(円)	906,000		

①事業の概要…愛南町内に住み、要介護・要支援の認定を受けた方が対象です。利用にあたり、送迎車で自宅とデイサービス施設の送迎を行います。デイサービス施設において、入浴・食事・排泄等の介助を行い、地域の方々との交流やレクリエーション・体操等を通して、社会的孤立の解消や、心身の機能が向上するよう支援します。

・営業日 月曜日から土曜日(祝祭日含む) (但し、12/31～1/3は休業します)

・提供時間 10:00～15:30

・利用者定員 18名以下/1日

②事業の目標…

I.西海地域唯一の地域密着型通所介護事業所の役割を認識し、地域により身近な存在として事業内容に地域交流を積極的に取り入れます。また、利用者の人生観を尊重し、生活様式や価値観を損なうことなく対応し、それぞれの暮らしを考えた自立につながるサービスの実施を目標とします。

II.介護・総合事業合わせて延べ利用者数300件 300万円/月を目標とします。

実績評価・問題点	町内地域密着型通所介護では、利用者数に変動が多い中、一日の利用者数平均が15名(定員18名)である。利用者数確保対策の一つとして、休みが増加する時期にもキャンセル待ちの方に声をかけ、利用していただき、出来る限り空席を作らないよう努力した。地域交流の点では、地域密着型の特性と義務を踏まえて、西海地域を中心としながらも、その他の地域の方々と交流を持つことができた。今後より広く地域に根差した通所を目指して交流の機会を持つこととしている。また、個々の機能を考慮したリハビリを実践し、出来ることを増やす「成功体験」を積み重ねることで意欲を引き出しながらリハビリを実践しているが、法改正で求められている機能向上の先にある、介護度を1段階でも改善していくところまで繋がっていないことが課題である。1名あたりのデイの利用頻度やデイで実践しているリハビリが自宅でのリハビリ生活に連動していないことも原因である。令和元年度は、利用者自身や家族・支援スタッフ等と目を見て、確認しながら自宅で簡単に行えるリハビリを提案して行くこととしている。
----------	---

＜14＞障害者相談支援事業

＜1＞障害者 特定相談支援事業

予算額(円)	1,184,000	主な財源	給付費、繰越金
決算額(円)	1,629,825	達成率	138%
支出(円)	707,407	繰越金(円)	922,418

①事業の概要…障害者(児)の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて支援するものです。愛南町よりサービスが必要と認められた方(受給者証発行)にサービス等利用計画の作成や、見直し(モニタリング)を行います。

②事業の目標…

I.一般相談者と重複している利用者の再アセスメントを行い、根拠あるモニタリングを行うことによって支援力の向上を目指します。それにより、継続利用支援費等が計上でき経営に反映できることを目指します。

II.ケアプラン・モニタリングを合わせて 77万2千円/年を目標としています。モニタリングの継続利用支援費が追加できるようになれば増加が見込めます。



実績評価・問題点	<p>特定相談事業：一般相談と重複している利用者については、継続サービス利用支援費としての計上はできず、経営への反映はできなかった。状態によって個別に定められるモニタリング期間の変更について、保険者への依頼をおこなったが、一般相談での継続を促される現状にある。現利用者が65歳以上となり、介護保険対象者となる方で、障害サービスと併用される場合は居宅介護支援事業所と協力して支援を行った。介護保険へ移行される方は、引き続きスムーズにサービス利用ができるよう居宅介護支援事業所へ引継ぎを行った。この場合の課題は利用者数が減ることだが、今後のことを見据えた対策としては、介護保険対象者となっても、同相談支援員が継続して担当でき、不安なくサービスを利用していただくことや、利用者数確保の点を踏まえ、平成31年4月からは就労支援経験を持ち、介護支援専門員有資格者の相談員配置を行い、広い範囲で障害支援事業展開を行うこととしている。</p>
----------	--

<2> 障害者 一般相談支援事業

予算額(円)	4,935,000	主な財源	町受託金、繰入金
決算額(円)	4,535,379	達成率	92%
支出(円)	4,524,240	繰越金(円)	11,139

- ①事業の概要・・・障害者(児)とその家族の抱える様々な問題について相談に応じます。相談内容に合わせて情報の提供、専門機関の紹介、障害福祉サービスの利用につなげる支援を行います。
- ②事業の目標・・・
- I.計画相談の利用者に偏らず、地域の一般相談者の増加につながるよう、様々な機関や地域活動への参加やサービス事業所との連携を取りながら、多様な相談に対応できるよう、広域な知識とネットワーク作りを目指します。

実績評価・問題点	<p>一般相談事業：計画相談利用者の計画の中身以外の日常生活の困りごとなどの相談は一般相談での計上が大きくあるのが現状である。しかし、徐々にではあるが、病院や施設など関係機関からの相談の連絡が入るようになってきているため、少しずつネットワークができ始めたのではないと思われる。町内の相談支援事業所毎の相談件数にも差があり、今後相談件数によっての歩合制も考えられるため、保険者の動向を確認していく必要がある。</p>
----------	---

<<15>> 愛南町西海高齢者生活福祉センター事業

予算額(円)	13,185,000	主な財源	町受託金
決算額(円)	11,983,825	達成率	91%
支出(円)	11,983,825	繰越金(円)	0

- ①事業の概要・・・入居されている高齢者にバランスのとれた食事の提供をし、夕方から翌朝までの施設館内における保安と入居者の状態変化に合わせた対応(緊急時含む)を行います。
- ②事業の目標・・・入居されている高齢者が安心且つ健康で明るい生活が送れるように、バランスのとれた食事の提供・関係職員や町担当者との連携を継続して行います。

実績評価・問題点	<p>入居者の状況を町雇用の支援員と協力しながら、宿直と調理対応を主としておこなった。宿直員は支援員と連携して居室の巡回やナースコールへの対応、時には入居者に代わり、家族と連絡を取るなどして安心して過ごせるようにした。また、調理員は、無駄な廃棄が出ないよう食材を準備し、バランスのよい調理メニューを考え、入居者の状態に合わせた切り方やトロミをつけるなど工夫した。調理員3名(通所介護兼務)が交替で従事しているが、一昨年度より調理員の怪我(業務外)による入退院が繰り返しあり、期間限定で他事業勤務職員に応援に来てもらったが、令和元年度は応援体制は取れないため、人員確保が必要となり、平成31年4月よりパート調理員1名を雇用している。</p>
----------	---

<<16>> 城辺高齢者共同住宅運営事業

予算額(円)	2,649,000	主な財源	町受託金
決算額(円)	2,523,368	達成率	95%
支出(円)	2,523,368	繰越金(円)	0

- ①事業の概要・・・城辺高齢者共同住宅における生活支援業務を受託運営し、住居者の自立した生活を確保し、共同生活をするにより、生活の質を高め、保健福祉の向上を図ります。
- ②事業の目標・・・町担当者や連携しながら、入居者間や入居者と支援員の良好な関係性の維持や、生活に必要な食・住の支援を滞りなく行います。

実績評価・問題点

支援員3人派遣し、調理・掃除等を主として行い、入居者間でのトラブルや支援員とのやりとり等に調整が必要な場合は、担当職員が町担当者と連絡を取りながら、入居者の自立生活への支援を行っている。また検討が必要な場合に応じて会議も開催している。入居者の体調(病状等)変化が頻回に起こることが多くなり、状態変化に対して、専門知識のない支援員では対応不可になるという課題が残っている。また、支援員となる職員も3名となり、ローテーション調整にも課題が残っているが、新たな人材の確保は難しい状況。菊川移転に伴い、支援員との連絡体制が、希薄になることが心配されるので、担当職員が月3回を基本として勤務時間内に定期的に訪問したり、電話連絡を密に取りあう機会を持って対応している。

II. 公益事業・管理運営事業

《1》福祉移送サービス(有償運送)事業

予算額(円)	2,889,000	主な財源	町補助金、負担金
決算額(円)	1,809,984	達成率	63%
支出(円)	1,809,984	繰越金(円)	0

①事業の概要…愛南町に居住する高齢者・障害者(児)で他人の介助によらずに移動することが困難であると認められ、かつ、単独でタクシー等の公共機関を利用することが困難な方を対象に、愛南町の協力依頼のもと、国土交通省より自家用自動車有償運送の許可を得て、福祉車両により居宅と医療機関との間を移送することにより、在宅福祉の充実を図ります。

②事業の目標…事故なく安全・安楽に通院出来ることを一番に、利用者の希望受診日・時間に出来る限り対応し、居宅と医療機関の移送支援を行います。また、平成30年度においては、申請手続きを適正化し、愛南町と協力して審査会を開催し利用対象者の決定をいたします。

実績評価・問題点

30年度は町担当者と協力し、申請ごとに厳正な審査を行う審査会を開催し、申請から利用の可否決定までの流れの適正化を図ることはできたが、25年以降続いた経営の落ち込みは回復の見込みなく、30年度を持って終了した。終了するにあたり、理事・評議員会で了承をいただいたのち、町主催の運営協議会においても報告、了承され、その後利用者宅に個々に説明に伺い理解いただいた。併せて関係機関にも説明し、了解いただいていた。町内受診等に係る支援としては、新たな補助事業を町が展開している。

《2》愛南町御荘老人福祉センター管理運営事業

予算額	2,000,000円	主な財源	町受託金
-----	------------	------	------

①事業の概要…平成19年より、町の指定管理者に指定され、公の施設であることを認識し、公平な管理に努めます。

②事業の目標…30年度中に社協の菊川への移転が行なわれる為、その後どのようにしていくか等の問題がありますが、センターを利用される方が今まで通り利用できるように、町との連携も取りながら取り組んでいきます。

年度別利用実績

年度	趣味・娯楽 (カラオケ等)	相談 (法律・心配ごと等)	研修	会議		相談室	入浴 (月・水・金)
				各種団体等	社協		
28	4	24	4	21	24	136	425
29	41	24	3	29	43	79	411
30	25	12	4	7	10	273	157

実績評価・問題点

カラオケ・相談(法律・心配ごと)は前年と変わらない、会議等各種団体の会議での使用が少なくなっている。入浴も現在3名になっているがシャワーが故障しているので人数が増えると支障が出てくる。

《3》各種団体事務の協力、援助

各種団体事務局

団体名	
① 民生児童委員協議会 本部・各支部	計6団体
② 愛媛県共同募金会愛南町支会	
③ 愛南町戦没者遺族会 本部・各支部	計6団体
④ 老人クラブ各支部	計5団体
⑤ 愛南町軍人恩給連盟	